



入念なりハーサル中



本番は緊張しました！by小田隊員

これまでの成果を発表!!

大木町での2年間を報告



1月17日、大木町の「こつぽーつとホール」にて、地域おこし協力隊としての中間報告会を開催しました。今回の発表に向けた準備は約1か月に及び、これまでの活動を振り返りながら資料をまとめる過程では、2年間の積み重ねが思い出され、しみじみとした気持ちになる場面も多くなりました。当日は約40名の方々にご参加いただきました。町民の方々や、地域で活動されている有志の方々など、これまでお世話になってきた方々に加えて、接点のなかった方々にも活動内容を直接お伝えする貴重な機会となりました。

発表は質疑応答を含めて約1時間半。会場では多くの方が真剣に耳を傾けてくださり、質疑応答の時間には、皆さんが気になっていた点や今後の展開に関する質問が次々と寄せられました。その中で特に印象的だったのは、ある参加者の方から「大木バイオクリエーションズ株式会社によるPRのおかげで、大木町の知名度が確実に上がっていると感じる」と感謝の言葉をいただいたことです。自分たちの取り組みが町の外へ届き、実際に効果を生んでいることを実感でき、大きな励みとなりました。今回の中間報告会は、これまでの歩みを振り返ると同時に、これからの活動に向けて気持ちを新たにすることが重要な時間となりました。大切な時間となりました。いただいたご意見や応援の言葉を胸に、今後も大木町の魅力をさらに広げ、地域の皆さんとともに前へ進んでいきたいと思えます。

おらせ

地域おこし協力隊からのおしらせ!

2月には、道の駅裏のくるん農園にて、スイートコーンの栽培に必要なビニール張りや種まきを行う予定であり、地域の農業と連携した活動にもさらに力を入れていきます。こうした現場での取り組みを積み重ねながら、対外的な発信だけでなく、町内の皆さんに向けた情報発信にも一層取り組んでいきたいと考えています。

番外編「初詣」

1月5日には地域おこし協力隊のみならず、久留米の高良神社に初詣へ行きました。おみくじを引き、一喜一憂する時間は新年の訪れを実感しました。伊藤隊員は多くの階段を登り、疲れを感じながらもその後の参拝では「大木町が大きな町になりますように」とお祈りしたそうです。



初詣に向かう伊藤隊員

中間報告会後には、皆さまの意見を受けまして、残りの1年間でどのように大木町に貢献できるかを再度話し合いました。今後ともよろしくお願ひいたします。

大木町

協力隊Instagramのフォロー
よろしくお願ひ致します



※TOWN_KYORYOKU※